

一般社団法人御坊青年会議所

理事長所信

第52代理事長 松山 知弘

スローガン 「絆」～人と地域の和を広げよう～

はじめに

本会議所は昨年50周年の大きな節目を迎える事ができました。この記念すべき年を迎える事ができたのも創立時より弛まぬ努力、揺るぎない信念をもって「明るい豊かな社会」の実現の為に一つ一つ地域社会に貢献し積み重ねてこられた先輩の皆様、そして、ご理解ご協力を頂きました行政並びに地域の皆様方のお陰に他なりません。その歴史の重みを感じ、積み重ねられた信念・精神を次世代へと繋げていくことはもちろんですが、私たちの取り巻く環境も日々変化しています。そのため絶えず時代に適合した活動を行い、創意工夫していく事も大切だと思います。その為にも同じ思いをもつ多くの仲間が必要不可欠です。明るい豊かな社会を具現化する「まちづくり」の為に「ひとづくり」が重要になってきます。メンバー同士がそれぞれの考え方や価値観を尊重し、共に議論を重ね苦勞をする中で達成感が生まれ、会員相互の絆が深まり、メンバー一人ひとりが成長し、その和を広げる事が人と人の絆、人と地域の絆を深め御坊・日高地域の「明るい豊かな社会」に導く原動力となると考えます。

会員拡大と組織強化について

御坊青年会議所は、志を同じうする者が集まり「奉仕・修練・友情」の基本理念のもとに日々活動を行い、地域に貢献し、その中でメンバーが切磋琢磨し個々の成長を図っている組織です。

組織とは所属している会員一人ひとりの集合体であるので、組織が継続して発展する為にも会員拡大は基本であり重要な課題になります。現在、御坊青年会議所は入会から年数の浅いメンバーが多く所属しています。個々の成長を図る為にも、メンバーには理事会または各委員会に積極的に参加し、活発な議論、企画、運営を通して励まし合い苦樂を共にし、各々の持つ力を高めて会員相互の絆を深めてもらいたいと考えています。JC活動は40歳までしかできません。JC活動を通じてメンバー自ら JAYCEE 活動を充実させて、楽しみ、成長することで魅力ある組織になっていきます。魅力ある組織には魅力ある人材が自然と集まると思っています。新しい仲間を迎え、さらに切磋琢磨し、その和を広げていく事が地域の未来を支える原動力となる「ひとづくり」に繋がります。御坊青年会議所を次世代に繋いでいく為にもメンバー全員で会員拡大、組織の強化に取り組みます。

青少年育成事業の実施とまちづくり

私たちの少年時代と比べ子供たちの取り巻く環境は大きく変化しています。IT技術の目覚ましい発展の恩恵を受け、私たちの生活が豊かになったのは間違いないですが、インターネット上には様々情報が溢れ自ら考えなくとも情報が得られ、他人に関わることがなくても過ごせる環境があり、地域の人たちと触れ合う機会や様々な人と関わることで得られる経験を積む機会が失われつつあると感じています。私たちの時代では近所のおじさんやおばさんも気軽に声を掛けてくれたり、危ないことをしていると注意を受けたり、叱ってくれたりしたものです。そうした地域での環境の中で人を思いやる心や、「ありがとう」といった感謝の心が自然と身についたと思います。私たち自身もそうした地域のおじさん、おばさんのように次世代を担う未来の宝である子供たちを正しい方向に導いていける大人でなければなりません。今一度自身を省みて私たち

が手本となるように心がけて頂きたいと思います。また子供の頃体験した、感動、喜び、悔しさ、驚きなど子供たちが成長する為に必要不可欠な要素だと考えます。青年会議所の事業を通じてそれらの要素を子供たちに体験する機会を与えること、貴重な体験を通して無限の可能性を引き出す場を提供することを地域の皆様と共創し子供たちが心豊かに成長する事業を提供していきたいと強く願います。

私は、生まれ育ったこの町で、仕事を通して地域の人と交流し、今なお学び成長するきっかけを頂いています。生まれ育ったこの町の人々に貢献できるよう日々の活動やJC活動を通して、子供たちにその魅力を様々な角度で伝えて行きたいと考えています。郷土を愛する気持ちを育み、郷土に愛着を持つ子供が増えれば、自然と魅力あふれ活気のある町になると思います。地域の発展なくして国家の発展は望めないと考えます。地域の発展の前にその地域の人々がその身をととのえることも重要です。我々も最大限努力をし、少しでも多くの皆様に地域の魅力を発見できる機会、地域を愛するきっかけを提供し、明るい豊かな社会の「まちづくり」に貢献できるよう事業を展開していきます。

JC活動への積極的な参加

私自身、ご縁があり御坊青年会議所に2014年4月に入会しました。入会当初は何もわからず先輩たちの活動をただ見て、そのお手伝いをしているだけで過ごしていましたが、セクレタリーという役職に付き、理事会で先輩たちの活発な意見交換を聞く中で様々な発見や学びがありました。そこからJC活動に参加する機会が多くなったと感じています。今思えば、仕事を終えた後にセクレタリーとしての議事録作成など夜遅くまで作業して辛かったと感じたことは最初の「修練」だったと思います。また、わんぱく相撲や七夕事業、御坊日高広域事業などの運営に関わり、地域への「奉仕」の精神を学ばせて頂きました。会員交流・拡大の委員長や副理事長、50周年記念事業を担当させて頂いた時は公私共に忙しく様々な葛藤がありましたが、同時に多くの仲間にも励まされ、助け支えられた「友情」に心を打たれました。

メンバーそれぞれ仕事も生活スタイルも違いますし、JC活動への取り組み方も違うと思います。仕事も大切ですし忙しくて時間がないと感じているかもしれません。これはメンバー共通の悩みではないでしょうか。しかし、たった一度、事業や例会に参加する事で生涯の仲間に出会えるかもしれません。新たな発見をするかもしれません。参加しなければそれらの機会を逃す事になります。またメンバーと話をすることで、その人の考え方や価値観を知ることが出来、より繋がりが深くなっていくと思います。決して楽ではないのですがほんの少しでも参加し活動することに意義があり、必ずそれぞれの糧になると確信しています。

結びに

2019年度のスローガンとして、「絆」～人と地域の和を広げよう～ を掲げます。「絆」には互いを大切に思うことという意味も含まれています。JCの活動は40歳までです。仕事とJCの両立は容易ではありませんが、限られた時間の中で、同じ目標に向かって誠心誠意と取り組み、メンバー同士の固い絆を構築しメンバー全員の力を結集させ、次の60年、70年、そして100年へと「英知」と「勇気」と「情熱」をもって51年目の記念すべき第一歩を、失敗を恐れることなく、全力で踏み出していきます。

基本方針

1. 会員拡大と組織の強化
2. 青少年育成事業の実施とまちづくり
3. 会員相互の交流、地域との交流
4. 例会、事業、各種大会への積極的な参加と協力

◎総務室

I 室長 小林 雅人

II 基本方針

本年、御坊青年会議所は「絆」～人と地域の和を広げよう～をスローガンに歩み出して行きます。総務室は広報・財政を担います。広報活動を通じて地域社会との信頼関係を構築する事で、人々との「絆」、地域との「絆」が深まり、それが明るい豊かな社会を具現化する「ひとづくり」「まちづくり」につながります。

本年度、総務室としては円滑な組織運営を図れるよう財政面、定款・諸規定の断続的な再検討、ホームページ・SNS等での対外広報活動の実施や運営・提案を役割とし、その任を果たして行きます。

III 事業計画

総務・広報委員会

- ・総会の担当
- ・定款・諸規定の見直し
- ・財政の運営と管理
- ・褒賞申請に関する事項
- ・会員消息に関する事項
- ・JCニュースの発行
- ・ホームページ、SNSを活用した運営管理と対外広報活動の実施
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

◎会員開発室

I 室長 石倉 大裕

II 基本方針

様々な個性を持った仲間が集う御坊青年会議所は、本年度51年目の1歩を踏み出します。

先輩方から引き継いできた「思い」「活動」「地域」を未来へ繋げていく為には、会員相互のより強固な「絆」が不可欠であると考えます。仲間づくりだけの団体であるなら存続する意味がありません。何の為の団体なのか一人ひとりが理解し、一つの想いを具現化していきます。

本年度は、会員同士の「絆」を深めていく為の「研修」「交流」「拡大」を展開してまいります。その為に先ずは、会員が好奇心から自発的に参加したいと感じる形式にとらわれない事業を実施し、これまで交わりのなかった会員同士の新たな「絆」を創出します。

魅力ある組織には魅力ある人材が自然と集まります。組織を維持していく上では人が欠かせません。我々会員が魅力ある組織をしっかりと維持し、様々な個性を持った仲間がお互いを認め合うことで更なる組織力強化を達成し、会員拡大へと繋げて参ります。

III 事業計画

会員交流委員会

- ・新春初詣の実施
- ・例会での三分間スピーチの担当
- ・会員相互の交流を図る事業の実施
- ・各種大会、事業への参加呼びかけ及びとりまとめ
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

拡大・研修委員会

- ・会員の拡大
- ・LIAの実施
- ・会員個々の資質向上を図る研修事業の実施
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

◎社会開発室

I 室長 福田 啓希

II 基本方針

我々、御坊青年会議所は昨年創立50周年の大きな節目を迎えました。これも偏に諸先輩方が地域の発展や青少年の育成のために、様々な素晴らしい事業に取り組んでこられた事が大きな要因となっています。その中には継続事業として現在まで長年受け継がれている事業もあり、これからもそれらの事業を継続していく事は重要だと考えます。しかし近年、青少年を取り巻く環境は大きく変化してきました。そんな時代の中で新たに目を向けなければならない問題も少なくありません。そこで我々の活動も時代に合わせ新たな視点を取り入れ、地域の子供達が「夢や未来への希望」をもって生き生きと育って行く事ができる青少年育成「ひとづくり」や、我々が暮らすこの町が「魅力あふれる活気ある町」になるよう地域の皆様と共に地域の発展を目指す「まちづくり」の原動力となるようJC活動に邁進して参ります。

そして、事業を通して御坊青年会議所を積極的にアピールし、地域の信頼を得ることが会員拡大への糸口となり、メンバーが増えることは我々にとって更なる社会貢献への大きな原動力になります。そして明るい豊かな社会を目指し、人と地域の和が広がっていくような事業を企画しメンバー同士固い「絆」を構築し、メンバー全員の力を集結し取り組んで参ります。

III 事業計画

青少年開発委員会

- ・第33回わんぱく相撲御坊場所開催並びに第2回わんぱく相撲県大会の開催
- ・第35回わんぱく相撲全国大会への参加
- ・青少年に関する諸問題の調査研究と実施
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

未来創造委員会

- ・御坊日高広域事業の実施
- ・地域活性化運動、青少年育成活動の推進と実施
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施

地域共創委員会

- ・第43回七夕まつりの実施
- ・地域発展に関する諸問題の調査研究と実施
- ・新入会員発掘への積極的な協力及びフォローアップ
- ・各種青年会議所運動への積極的な参加
- ・その他基本方針より派生する諸問題の調査研究と実施